



SSKW すてっぷ だより

編集 社会福祉法人すてっぷ すてっぷ後援会

〒379-2164群馬県前橋市東上野町136番地1

TEL 027-290-6161 FAX 027-290-6162 <http://www.s-step.com> w-step@s-step.com

No.25



あけましておめでとうございます。

希望に満ちた一年でありますことを心より祈願いたします。



昨年の『第5回 チャリティーアート展 in すてっぷ』は、おかげさまで盛況のうちに終了致しました。たくさんのご来場、ご協力ありがとうございました。

新しい作家さん・新しい作品が加わり、また会場の雰囲気もより開放的に明るくなった今回、たくさんのお客様にご好評をいただき、売上も昨年を上回りました。

また、多くの作家さんが会場にお見え下さり、お客様と直接お話をしたり、その場でイラストを描いて下さったりと、たくさんのふれあいがあったのも大きな喜びでした。

わーくはうすのパン・喫茶班、創作活動班も日頃の成果を十分に発揮し、充実した3日間でした。

改めまして、ご協力をいただきました皆様にお礼を申し上げます。

今年は障がい者福祉の大変革の年です。4月施行の障害者自立支援法という大きな波に障がいを持つ人々の生活が流されないように、会員の皆様と共にすてっぷを支えていきたいと思ひます。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

すてっぷ後援会 会長 猿木 素子



第5回チャリティーアート展収支報告

総売り上げ	1,857,300円
収入	
売上寄付金	417,102円
支出	
必要経費(印刷代等)	171,372円
利 益	245,730円



昨年度より年賀状を中止し
すてっぷだよりを新年の
あいさつとさせて頂いております。



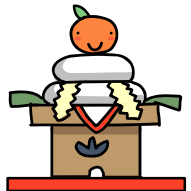
Happy New Year!

ハンディがあっても地域で普通の暮らしを！！
今年もよろしくお願い致します。



社会就労センターぴいす

わーくはうす すてっぷ



開所してから もう7ヶ月がたちました。
県立女子大の学食の運営も軌道に乗り、焼きたてパンも販売しています。
廃品回収やメール便もたくさん収益をあげることができました。
これからも躍進していきたいと思ひます。
なお、お弁当を取っていただける事業者等がございましたら
ぜひ、ご紹介ください。



今年は第九の合唱にチャレンジ！！
私達の晴れ舞台をぜひ見に来て下さい。
5/6 池袋芸術劇場で待ってま～す。



とらっば

本年も福祉会館のお客様に気持ちよく利用していただけるよう、清掃・喫茶両班頑張りたいと思ひます。ぜひ、お立ち寄り下さい。本年もどうぞよろしくお願い致します。



前橋市障害者生活支援センター

新人ソーシャルワーカー
岡本が加わりました。
どうぞ、お気軽にご相談ください。



ヘルパーステーション すてっぷ

いつもご利用いただきありがとうございます。
今月から介護保険のヘルパーもご利用いただける予定です。本年もどうぞよろしくお願い致します。



サービスステーション すてっぷ

「またすてっぷを使いたいな」と満足していただけるようスタッフ同全力で頑張ります！



サービスステーション ほっぷすてっぷ

2006年もあなたとご家族のくらしを応援します。
心地よい時間づくりをスタッフみんなで目指していきます。
本年もよろしくお願い致します。

メゾンすてっぷ



新年おめでとうございます。
今年もよろしくお願い致します。

グループホームRUN



今年も楽しく、元気に過ごしたいと思ひます！よろしくお願い致します！



Kid's Club 放課後クラブ



「今日はすてっぷだ！ やったー！」と早起きしたくなるようなクラブを子どもたちと一緒につくってゆきたいと思ひます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

パンの販売はスタートより好評で、お昼時ともなると行列となり学生さん達で賑わっています。

11月は、大学の文化祭『錦野祭(11/12,13)』へ参加し、焼きたてパンと手作りデザートの販売とわーくはうす・すてっぷのアート作品の展示販売を行いました。多くのお客様に足を運んでいただき、新しいお客様と触れあい、ぴいすきっちゃんを知っていただく良い機会となりました。

私たちは、何よりもお客様の笑顔と「おいしい。」の一言を励みにこれからも“お客様に喜んでもらえる味”と“あたたかい接客”を目標に毎日を頑張っていこうと思っています。

毎年恒例のすずの音会の忘年会。今年は中華街で美味しい物を食べることに決定！！12月9日、利用者29名、スタッフ11名、総勢40名で、横浜へ行ってきました。

首都高の想像以上の混み具合で、予定よりも1時間遅れて、横浜中華街・聘珍樓（へいちんろう）へ到着。駐車場からも近く、お店の方もとても親切でした。普段あまり食べることのない中華のコース料理を、お腹いっぱい食べました。おいしいおみやげも買え、大満足でした。

次に向かったのは、日本最速のエレベーターと日本一高い展望フロアで有名なランドマークタワー。陽が沈む直前の時間帯でしたが、富士山も見え、素晴らしい眺めでした。帰り際に見えた夜景もキレイで、もう少しゆっくりできたら…と誰もが思ったようです。



最後に向かったのは、2006年5月に第九を歌う舞台、芸術劇場。残念ながらホールに入ることはできませんでしたが、劇場の大きさに圧倒され、「ここで第九を歌うのはすごい事なんだ」と、実感はできました。

予定よりも2時間遅れてしまい、わーくに着いたのは22時をまわってしまい疲れましたが、みんなで楽しく行ってくることができ、本当にいい思い出になりました。

A decorative graphic at the bottom of the page featuring a horizontal line of stylized autumn leaves in various shades of red, orange, and yellow, with some leaves appearing to be falling or blowing in the wind.

少し肌寒さが感じられた10月22日、とらっぱの利用者、スタッフ、パートさん総勢20名で、東京は池袋・サンシャインシティへ行って来ました。今回の旅行は利用者自治会で案が出され、のんびりと高崎線を乗り継ぐ在来線の旅となりました。池袋に着いた後、ちょっと迷いながらもサンシャイン60に着き、地上59階の展望レストラン「レトイアノン」にてbuffestailの昼食に舌鼓。カフェとらっぱのメニューの参考になりました。

食後は展望階に行くも生憎の曇り空で少し残念でしたが、今旅行のメインのサンシャイン国際水族館では大きな水槽や珍しい魚たちに感激でした。特にラッコやアザラシのかわいいしぐさに皆さんが携帯カメラを向けていました。おみやげも皆さんじっくり選んでとっておきの思い出を手にしていました。スケジュールがずれてしまうトラブルもありましたが、無事前橋駅にて解散となりました。「またみんなで行こうね。」これを合い言葉にまた日々の仕事に打ち込んでいきます。



緊急事態！……その時暮らしを支えるものは……



今春のある日、ある利用者さんの家でどこのお宅でも心配されるような事件が起きました。それは、中心的な介護者であるご本人のお母さんがケガをされ、緊急入院することになったのです。こちらのお宅は、核家族でお父さんは単身赴任中。週末に家に帰ってきます。

家族の日常の食事、洗濯などの家事は、他県に住むお祖母様が手伝ってくれることになりました。でも、自閉症という支援の難しい障害があり、身体も大きいご本人のケアを高齢のお祖母様に担ってもらうわけにはいきません。問題は、ご本人の日常的な支援をどうするかです。こんな時、選択肢はあまりありません。考えられた方法は、施設への短期入所か、在宅支援サービスを組み合わせる在宅で生活するか、です。もちろん、決めるのは本人と家族です。でも、ご本人は自分で言うことができません。ご家族が望んだのは、本人が慣れない施設で生活することになる短期入所ではなく、住み慣れた自宅で普段通り生活することでした。最も家族が希望したのは、平日の昼間は日中活動先へ出かけ、夜間から翌朝までは、生活サポートの支援を受け、週末は父親がケアすることでした。サービスステーションのスタッフならご本人も慣れているし、自宅で過ごすことで安定した生活を続けることができ、夜間不安定になってもすばやい支援ができると考えてのことでした。

しかし、生活サポートの制度には制限があり、それは叶いませんでした。それでも、ご本人のためにどのような支援をしていくことが最良なのか…ご本人のお父さん、行政の担当者を含め、何度も相談を重ねました。その結果、最大限生活サポートの制度を使いながら、施設への短期入所も少し活用し、さらに私的契約サービスを組み合わせるということになりました。お母さんが退院し、体調が戻るまでのおよそ5ヶ月間を私達支援者もご家族も誰よりご本人も必死な思いで何とか切り抜けたのです。

ご本人にとっては、お母さんがいないことへの不安やストレスもあったことでしょう。しかし、慣れない施設で毎日生活するよりも自宅で生活できていたことの安心感は計り知れません。このことをきっかけに、改めて緊急事態でも対応できるサービスステーションの重要性、住み慣れた場所で生活するということが大切さを実感しました。これからも地域で暮らすみなさんの頼りになる存在…「もしものときのすてっぷ」になれるようにがんばりたいと思います。

サービスステーションすてっぷ 中澤

◎第九コンサートツアーのご案内

来たる2006年5月6日(土)14時に東京池袋の東京芸術劇場にて、わーくはうす すてっぷがベートーベンの第九の合唱に参加します。私達の第九合唱を生で聴いて会場で応援してくれる人を大募集します。バス代約3500円のバスがあります。5月の第九と一緒に楽しみませんか？ご興味のある方、お問い合わせ下さい。

Tel 027-290-6161 担当高橋まで

◎ヘルパー募集！！

せっかく取得した「ヘルパー2級修了証明書」が、タンスの引き出しに眠っていませんか？皆様のお知り合いでもそんな方がいたら、ぜひご紹介ください。経験のある方はなお歓迎いたします。

Tel 027-290-2233 担当瀧澤まで

・わーくはうす すてっぷ	〒379-2164 前橋市東上野町136番地1	TEL 027-290-6161
・ヘルパーステーションすてっぷ	〒379-2164 前橋市東上野町136番地1	TEL 027-290-2233
・サービスステーションほっぷすてっぷ	〒379-2164 前橋市東上野町136番地1	TEL 027-290-2240
・メゾンすてっぷ	〒371-0004 前橋市亀泉町3-83	TEL 027-269-7444
・前橋市障害者生活支援センター	〒379-0017 前橋市日吉町2-17-10	TEL 027-236-0001
・知的障害者小規模授産施設とらっば	〒371-0017 前橋市日吉町2-17-10	TEL 027-219-2525
・グループホームRUN	〒371-0017 前橋市日吉町2-29-4	TEL 027-234-3321
・社会就労センターひいす	〒371-0032 前橋市若宮町4-2-17	TEL 027-236-0303
・サービスステーションすてっぷ	〒370-3523 群馬郡群馬町福島782-1	TEL 027-372-3456

発行人 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21

編集人 社会福祉法人すてっぷ すてっぷ後援会

〒379-2164 群馬県前橋市東上野町136-1

Tel 027-290-6161 Fax 027-290-6162

www.s-step.com w-step@s-step.com

定価100円